



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「さといもの収穫量」と「九州出生の「リオ」オリンピックメダリスト」です。



さといもの収穫量

検索



九州出生の「リオ」オリンピックメダリスト

検索



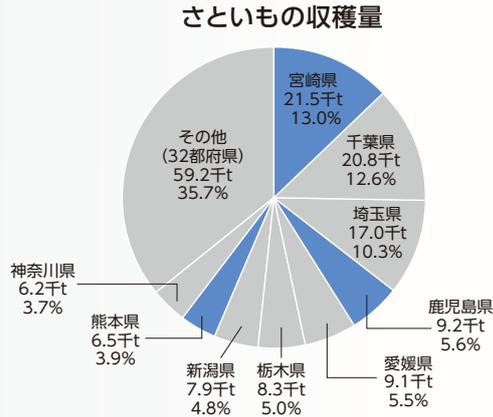
九州出生の「リオ」オリンピックメダリスト

さといもの収穫量

さといもの収穫量

これから冬にかけて旬を迎える「さといも」は、日本で稲作が始まる以前の縄文時代から私たちの食卓を支え続けてきた作物として、今でも多くの地域で生産されています。その収穫量を都道府県別に見てみると、宮崎県が全国1位となっており、その他九州では鹿児島県(4位)、熊本県(8位)が続いています。

宮崎県では、さといものなかでも細長い円筒状の形が特徴の品種「たけのこいも(京いも)」が特産品となっており、「みやざき京いも」としてブランド化され、東京、大阪を中心に全国に出荷されています。「みやざき京いも」は、収穫後、栽培時とは逆向きにして再度畑の中に埋め込み、15日以上土中で完熟させてから出荷します。手間ひまをかけて育てられた「みやざき京いも」は、身が引き締まり調理の際に煮くずれしにくく、おでんや煮物に最適です。



(出所:農林水産省「平成26年産野菜生産出荷統計」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

九州出生の「リオ」オリンピックメダリスト

約3週間にわたり、ブラジルのリオデジャネイロを中心に熱戦が繰り広げられた「第31回オリンピック競技大会」。日本は本大会で過去最多となる41個のメダル(金12個、銀8個、銅21個)メダル獲得総数世界第6位)を獲得し、58名の選手が見事メダリストとなりました。

メダリストを出生地別で見ると、九州は、2つの金メダルを獲得した体操の内村航平選手をはじめ6名のメダリストが誕生しました。

現在日本では、東京大会(2020年)で更なるメダル獲得増に向け、スポーツ庁を発足(昨年10月)させるなど、政府・各競技団体が一体となって選手の育成・強化に取り組んでいます。

九州出生の「リオ」オリンピックメダリスト

名前	競技(種目)	出生地	メダルの種類
内村 航平	体操(男子 団体、個人総合)	福岡県	金×2
坂井 聖人	競泳(男子 200mバタフライ)	福岡県	銀
石川 佳純	卓球(女子 団体)	福岡県	銅
松田 文志	競泳(男子 4×200mリレー)	宮崎県	銅
永瀬 貴規	柔道(男子 81kg級)	長崎県	銅
羽賀 龍之介	柔道(男子 100kg級)	宮崎県	銅

(出所:公益財団法人 日本オリンピック委員会「日本代表選手団メダリスト・入賞者一覧」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる

福岡県の景気は、一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられます。

個人消費は月後半の天候不順の影響により、全ての品目において前年を下回ったほか、住宅建設も5ヵ月ぶりに前年を下回りました。一方、熊本地震の影響で生産停止となっていた自動車工場の稼働が再開した輸送機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きがみられ、また公共工事についても12ヵ月ぶりに前年を上回りました。

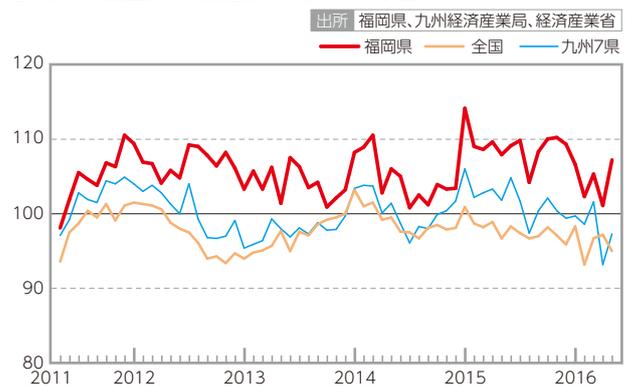
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は107.2と前月比6.0%上昇しました。

主要業種では、熊本地震の影響で生産停止となっていた自動車工場の稼働が再開した輸送機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きがみられます。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)



2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

6月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.1%減の516億円となりました。

熊本地震による消費マインド低下の影響は和らいだものの、月後半の天候不順により来店客数が伸び悩み、全ての品目において前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





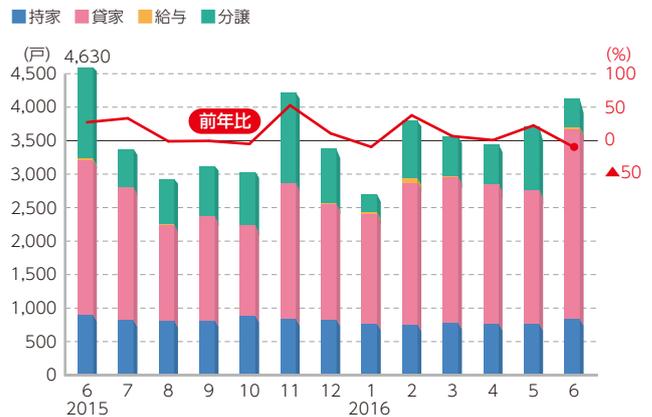
3.住宅建設 | 5ヵ月ぶりに前年を下回る

6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比10.4%減の4,149戸となりました。

「貸家」が前年を上回ったものの、「持家」「分譲」が前年を下回り、全体でも5ヵ月ぶりに前年を下回りました。

福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



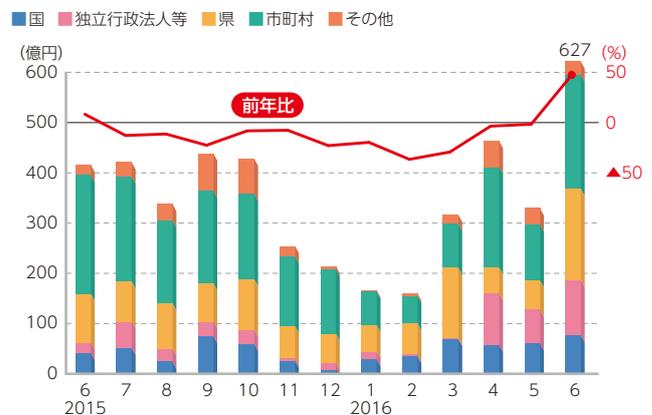
4.公共工事 | 12ヵ月ぶりに前年を上回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比6.6%増の742件、金額が同49.6%増の627億円となりました。

発注者別では、ダム建設工事の大型案件があった「独立行政法人等」や「県」が前年を上回り、全体でも12ヵ月ぶりに前年を上回りました。

福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比26.9%増の33件、負債総額は約25億円となりました。

卸売業で14億円の大型倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに前年を上回りました。

福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 熊本地震の影響は和らぎつつあり、一部には持ち直しの動きがみられる

熊本県の景気は、熊本地震の影響が和らぎつつあり、一部には持ち直しの動きがみられます。

生産活動は熊本地震の影響が続いており、輸送機械が低下する等、弱含んでいるほか、住宅建設も2カ月連続で前年を下回りました。一方で、個人消費は熊本地震の復興需要により生活必需品が前年を上回る等、持ち直しの動きがみられ、公共工事についても2カ月ぶりに前年を上回りました。

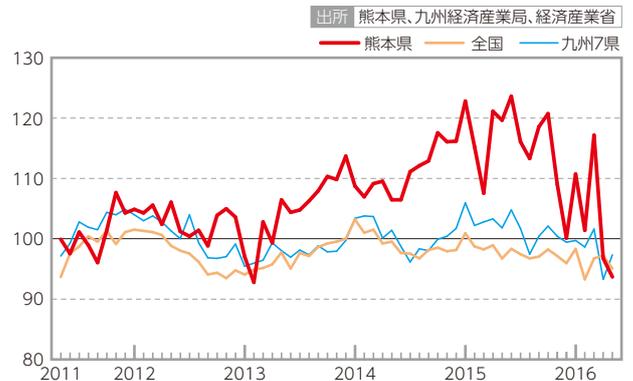
(諸限 あきこ)

1.生産活動 | 熊本地震の影響により弱含んでいる

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は93.6と前月比3.2%低下しました。

熊本地震による生産設備の毀損等の影響は、解消しつつあるものの依然として残っており、輸送機械や、飲料の生産が減少した食料品・たばこが低下する等、生産は弱含んでいます。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)



2.個人消費 | 持ち直しの動きがみられる

6月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.5%増の120億円となりました。

熊本地震の被害を受けて休業していた店舗の再開の動きがみられるほか、熊本地震の復興需要により、家具や家庭用品などの生活必需品が前年を上回る等、個人消費は持ち直しの動きがみられます。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



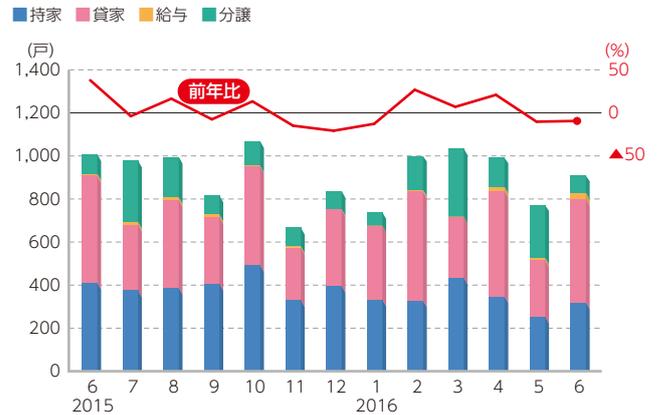
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比9.9%減の915戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比13.2%減の362件、金額が同31.4%増の173億円となりました。

発注者別では、震災復旧工事があった「国」や、高速道路設備工事があった「独立行政法人等」等が前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比66.7%減の3件、負債総額は同89.9%減の約2億円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 弱含んでいる

長崎県の景気は、弱含んでいます。

公共工事は3ヵ月連続で前年を上回りましたが、住宅建設は2ヵ月連続で前年を下回りました。また、修繕船が減産となった輸送機械が低下する等、生産活動は弱含んでおり、個人消費についても月後半の天候不順の影響により、主力の衣料品や飲食料品が前年を下回りました。

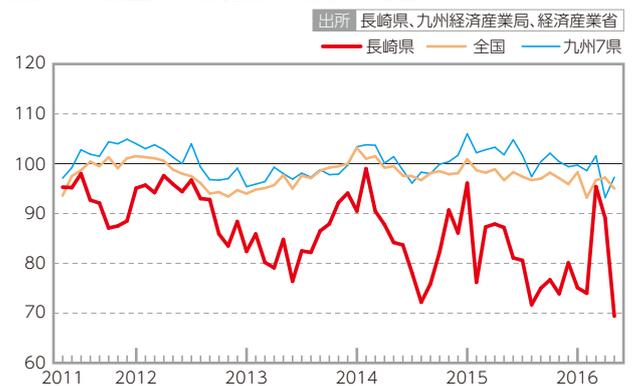
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含んでいる

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は69.4と前月比22.1%低下しました。

主要業種では、修繕船が減産となった輸送機械や、半導体集積回路の生産が減少した電子部品・デバイスが低下する等、生産は弱含んでいます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

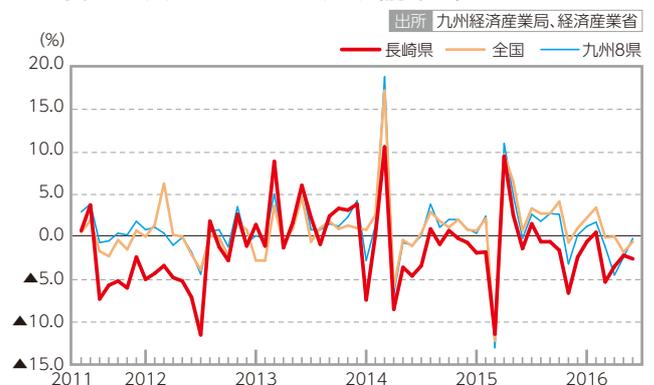


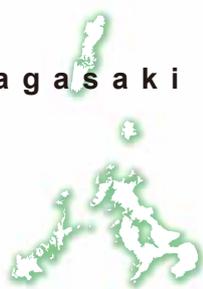
2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

6月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.7%減の85億円となりました。

熊本地震による消費マインド低下の影響は和らいだものの、月後半の天候不順により来店客数が伸び悩み、主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





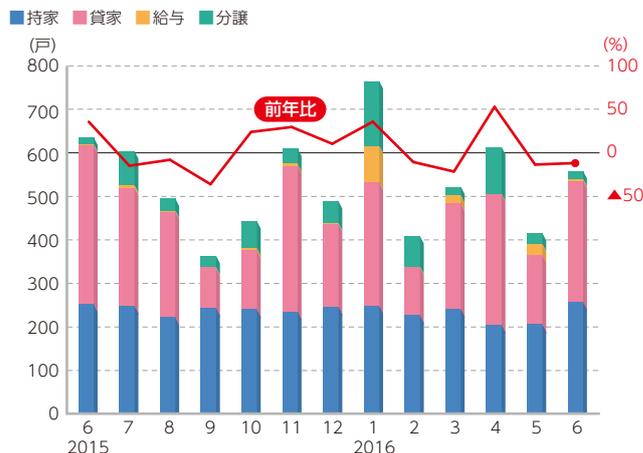
3.住宅建設 | 2カ月連続で前年を下回る

6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比12.2%減の563戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「貸家」が前年を下回り、全体でも2カ月連続で前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



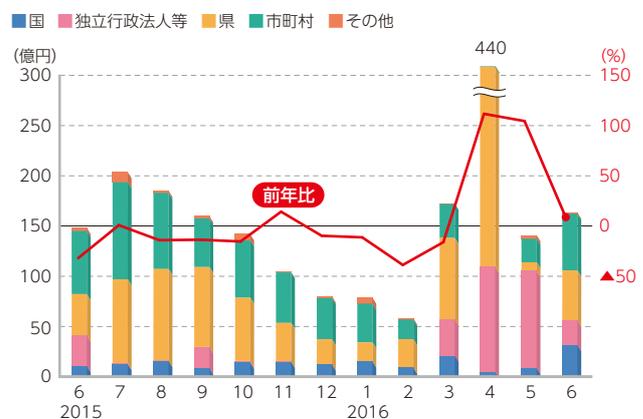
4.公共工事 | 3カ月連続で前年を上回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比5.7%増の443件、金額が同10.4%増の165億円となりました。

発注者別では、トンネル新設工事の大型案件があった「国」等が前年を上回り、全体でも3カ月連続で前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 2カ月ぶりに前年を上回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が6件、負債総額は約5億円となりました。

運送業で約3億円の倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 底堅く推移している

佐賀県の景気は、底堅く推移しています。

住宅建設及び公共工事は2ヵ月ぶりに前年を下回ったものの、飲料用缶が増産となった金属製品が上昇する等、生産活動は底堅く推移しており、個人消費についても主力の飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

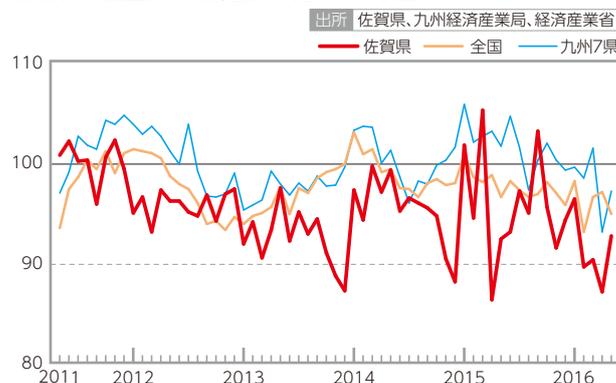
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.8と前月比6.4%上昇しました。

主要業種では、熊本地震によるサプライチェーン障害の影響が和らぎ、飲料用缶が増産となった金属製品や、輸送機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

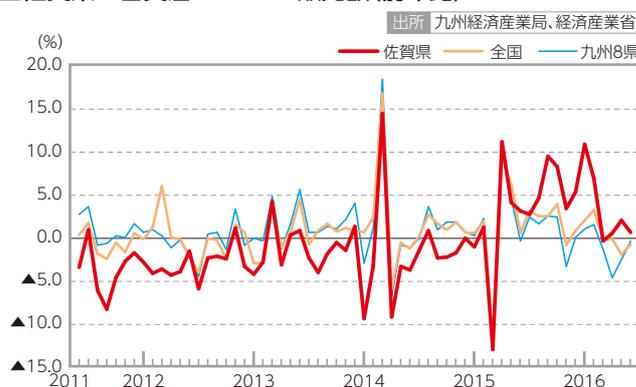


2.個人消費 | 底堅く推移している

6月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.7%増の51億円となりました。

主力の飲食料品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





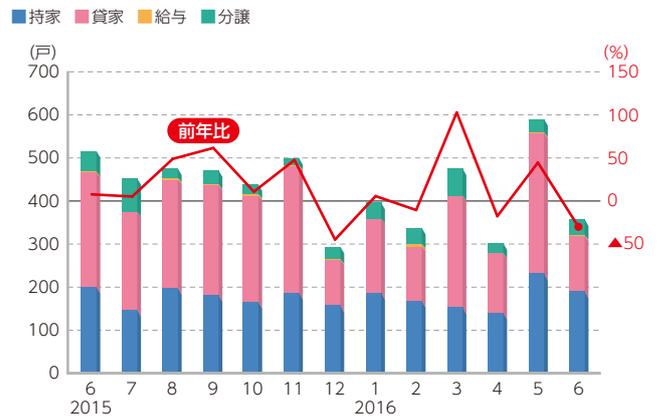
3.住宅建設 | 2カ月ぶりに前年を下回る

6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比30.8%減の360戸となりました。

「分譲(マンション)」を除く全ての項目で前年を下回り、全体でも2カ月ぶりに前年を下回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



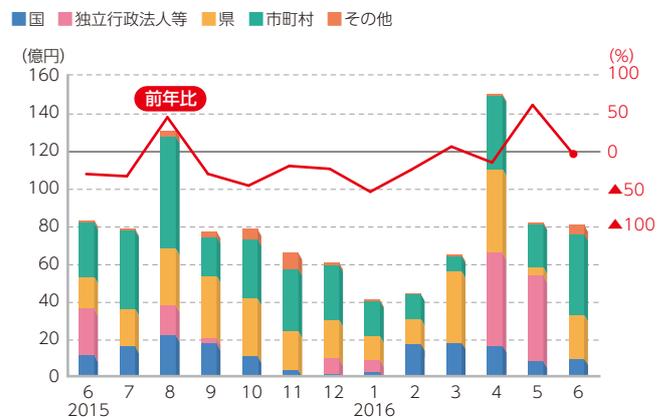
4.公共工事 | 2カ月ぶりに前年を下回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比18.8%増の227件、金額が同3.1%減の81億円となりました。

発注者別では、福祉施設建設工事があった「市町村」等が前年を上回りましたが、「国」「独立行政法人等」が前年を下回り、全体でも2カ月ぶりに前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 5カ月連続で前年を上回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が5件、負債総額は前年同月比70.7%増の約3億円となりました。

小売業で約1億円の倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに前年を上回りました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 底堅く推移しているが一部に弱さがみられる

大分県の景気は、底堅く推移していますが一部に弱さもみられます。

熊本地震の復興需要により生活必需品が前年を上回る等、持ち直しの動きがみられるほか、住宅建設が2ヵ月連続で前年を上回りました。一方で、合成ゴムが減産となった化学・石油製品が低下する等、生産活動は弱含みの兆しがみられます。また、公共工事も3ヵ月連続で前年を下回りました。

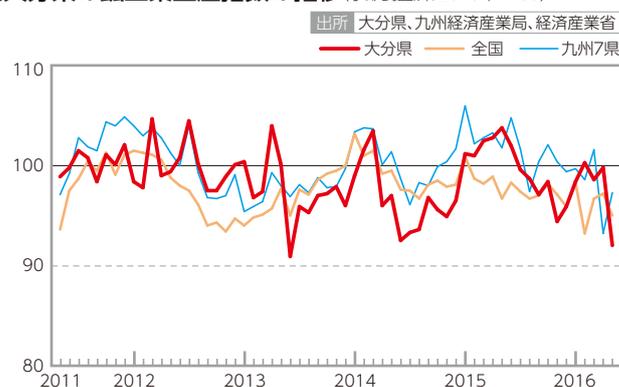
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.0と前月比7.8%低下しました。

主要業種では、合成ゴムが減産となった化学・石油製品や、はん用・生産用・業務用機械が低下する等、生産は弱含みの兆しがみられます。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

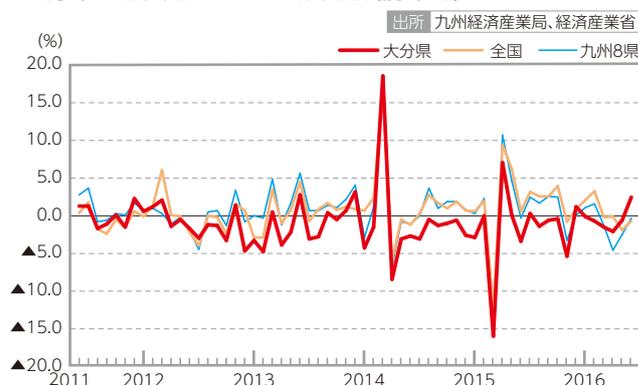


2.個人消費 | 持ち直しの動きがみられる

6月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.5%増の84億円となりました。

熊本地震の復興需要により、家具などの生活必需品や、飲食料品が前年を上回る等、個人消費は持ち直しの動きがみられます。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





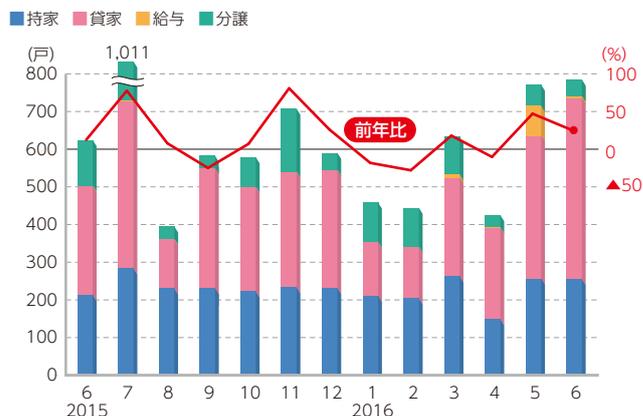
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比25.8%増の791戸となりました。

「分譲(マンション)」を除く全ての項目で前年を上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



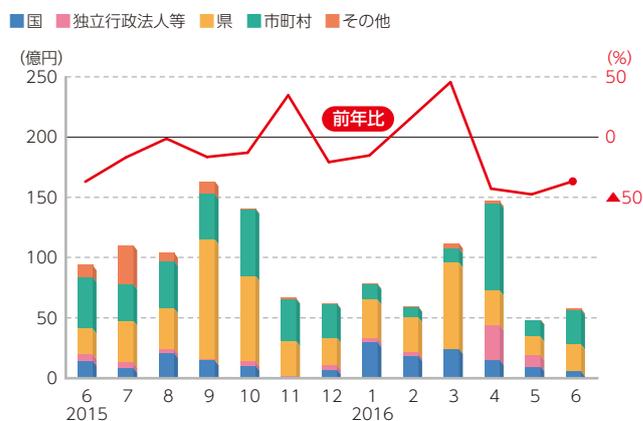
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を下回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比5.3%増の240件、金額が同38.2%減の58億円となりました。

発注者別では、県立病院改修工事があった「県」が前年を上回りましたが、「国」「独立行政法人等」「市町村」「その他公共的団体」が前年を下回り、全体でも3ヵ月連続で前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 2ヵ月連続で前年を上回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%増の8件、負債総額は同66.8%増の約15億円となりました。

医療法人で約11億円の大型倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに前年を上回りました。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 底堅く推移している

宮崎県の景気は、底堅く推移しています。

住宅建設は2ヵ月ぶりに前年を下回ったものの、化学が上昇する等、生産活動は底堅く推移しており、個人消費についても化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、公共工事も6ヵ月連続で前年を上回りました。

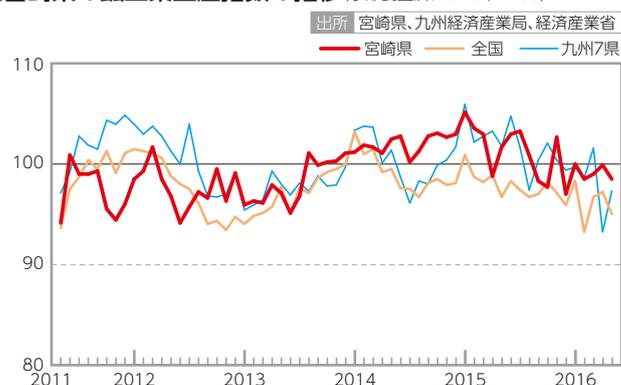
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は98.5と前月比1.4%低下しました。

主要業種では、電子部品・デバイスが低下したものの、化学が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

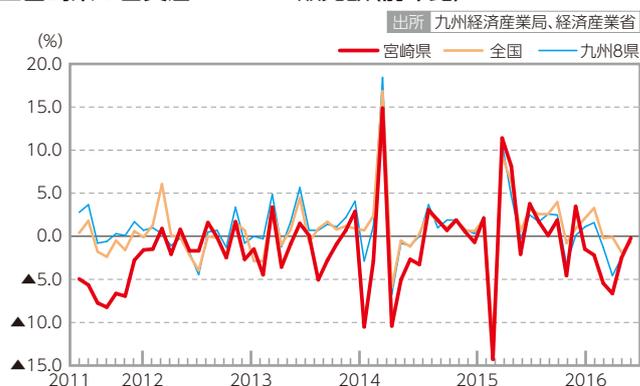


2.個人消費 | 底堅く推移している

6月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.2%減の55億円となりました。

熊本地震による消費マインド低下の影響が和らぎ、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





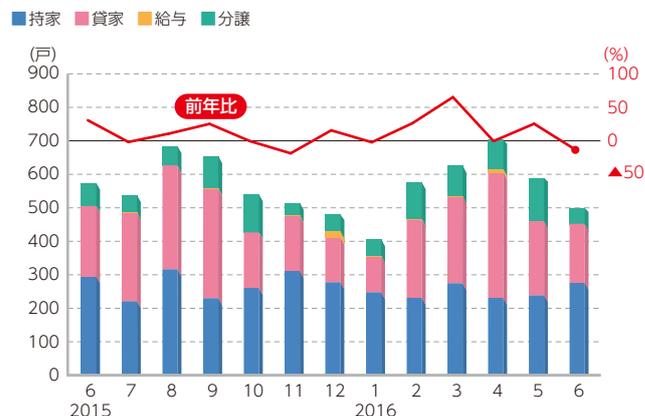
3.住宅建設 | 2カ月ぶりに前年を下回る

6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比13.1%減の503戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を下回り、全体でも2カ月ぶりに前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



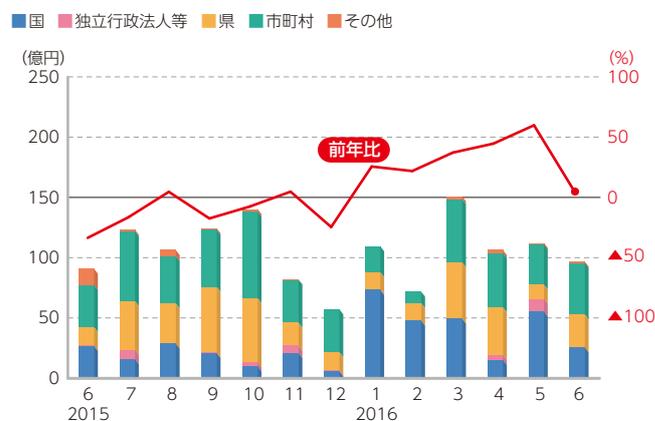
4.公共工事 | 6カ月連続で前年を上回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比27.0%増の409件、金額が同6.6%増の97億円となりました。

発注者別では、校舎建設工事があった「市町村」と「県」が前年を上回り、全体でも6カ月連続で前年を上回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の2件、負債総額は約1億円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 底堅く推移しているが一部に弱さがみられる

鹿児島県の景気は、底堅く推移していますが一部に弱さがみられます。

食料品や輸送機械が上昇する等、生産活動は底堅く推移しているほか、公共工事が5ヵ月連続で前年を上回りました。一方で、個人消費は月後半の天候不順の影響により、主力の衣料品や飲食料品が前年を下回り、住宅建設についても3ヵ月連続で前年を下回りました。

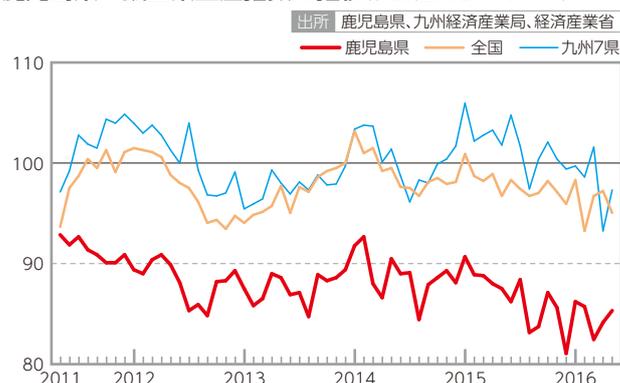
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は85.2と前月比1.4%上昇しました。

主要業種では、食料品や輸送機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

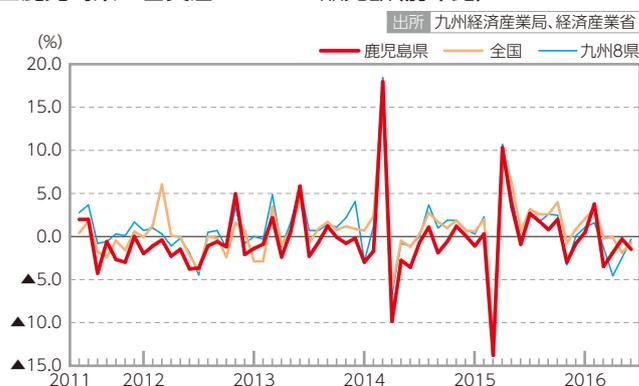


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

6月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.5%減の113億円となりました。

熊本地震による消費マインド低下の影響は和らいだものの、月後半の天候不順により来店客数が伸び悩み、主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





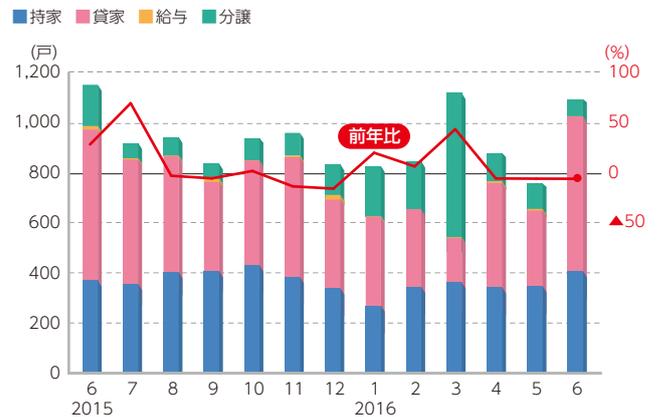
3.住宅建設 | 3カ月連続で前年を下回る

6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比5.0%減の1,099戸となりました。

「持家」「貸家」が前年を上回ったものの、「分譲」が前年を下回り、全体でも3カ月連続で前年を下回りました。

鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



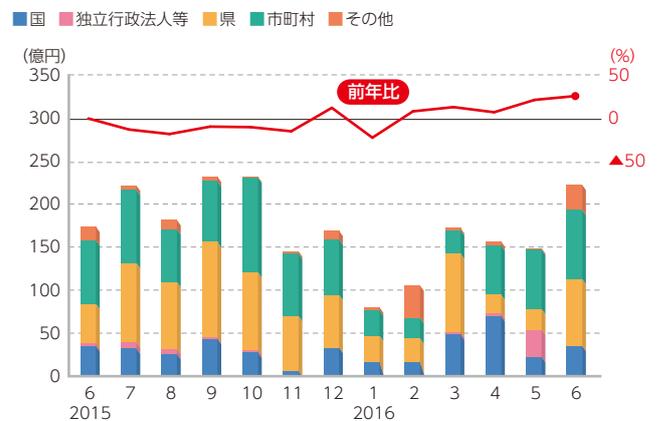
4.公共工事 | 5カ月連続で前年を上回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比33.0%増の625件、金額が同28.1%増の224億円となりました。

発注者別では、廃棄物処理施設建設工事の大型案件があった「その他公共的団体」等が前年を上回り、全体でも5カ月連続で前年を上回りました。

鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに前月を上回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比16.7%増の7件、負債総額は同34.5%減の約21億円となりました。

製造業で約15億円の大型倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに前月を上回りました。

鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

